演出家
鈴木裕美による戯曲の読み方ワークショップ12月に開催！

12月2日（月） から5日（木）まで東京・芸能花伝舎で、演出家
鈴木裕美による戯曲の読み方ワークショップが開催される。
本ワークショップは、テキストを用いて、鈴木裕美の考える戯曲の構造の捉え方、台詞の理解の仕方を話すもので、俳優に限らず戯曲に興味を持つ方すべてが対象。
テキストは、ウィリアム・サローヤン『おーい、救けてくれ！』を使用する。

◆鈴木裕美コメント

「戯曲の読み方を教えて欲しい」と俳優さんたちに言われることが多く、ワークショップをやることにしました。今回で2回目です。
教えるというのはのはおこがましいですし、どう読んでも自由だと思いますので、あくまで”鈴木の考える”「戯曲の面白がり方」
や「戯曲を読むコツ」あるいは「法則」について、お話します。
まずは、どの戯曲にも当てはまるお話しをし、その後テキストを用いて具体的にお話ししたいと思います。
俳優さんにとって、戯曲が求めていることがピンとくれば、具体的に演技が組み立てやすくなるのは当然のことなので、その一つのき っかけになればいいと思っています。
しかし、俳優さんでなくても、戯曲に興味のある方ならどなたでもお越し頂けます。

テキストはウィリアム・サローヤンの『おーい、救けてくれ！』になります。選択の理由は、短い戯曲ですので、戯曲に慣れていなく
ても全編を読み通すのに負担が少ないこと、恐らく読み手によって様々な解釈が成立するだろうこと、これも恐らくですが、あまり馴
染みのない戯曲なので先入観がないだろうことなどですが、何より、丁寧に紐解くに足る素晴らしい戯曲だと思うからです。
また、俳優さんの参加者の方には、声に出して読む際にご協力いただけたらと思っていますが、強制は決してしません。また、「
戯曲の読み方」のワークショップですので、演技についてのコメントはほぼないと、ご承知おきください。
また、内容は今年の2月に実施したものとほぼ同一になります。

＜開催概要＞

〇日時
12月2日（月） ～5日（木） 18：00～21：00
※17：45より入室できます

〇会場
芸能花伝舎
東京都新宿区西新宿6-12-30

〇参加資格
どなたでも

〇持ち物
テキスト
ウィリアム・サローヤン『わが心高原に／おーい、救けてくれ!』（ハヤカワ演劇文庫）

〇参加費
4日間 ￥21,000（消費税込み）

〇定員
30名 先着順 定員に達し次第締め切り

申し込みはPeatixから

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com